

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年5月31日

【会社名】 株式会社TOKYO BASE
(旧社名 株式会社STUDIOUS)

【英訳名】 TOKYO BASE Co., Ltd.
(旧英訳名 STUDIOUS Co., Ltd.)
(注) 平成28年5月27日開催の第8回定時株主総会の決議により、平成28年6月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 谷 正人

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区渋谷一丁目2番5号

【電話番号】 03-6712-6842(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 中水 英紀

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区渋谷一丁目2番5号

【電話番号】 03-6712-6842(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 中水 英紀

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成29年5月26日開催の第9回定時株主総会において、決議事項が決議されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該株主総会が開催された年月日
平成29年5月26日

(2) 当該決議事項の内容

第1号議案 定款一部変更の件

当社は、コーポレート・ガバナンスの一層の充実という観点から、監査等委員会設置会社へ移行いたします。

また、迅速な意思決定と機動的な業務執行の実現を目的として、重要な業務執行の決定を取締役に委任することができる旨の規定の新設を行います。

これに伴い、監査等委員会設置会社への移行に必要な、監査等委員会及び監査等委員に関する規定の新設ならびに監査役及び監査役会に関する規定の削除等を行います。

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

当社は第1号議案「定款一部変更の件」の承認可決を条件として、監査等委員会設置会社へ移行いたします。つきましては、取締役全員（4名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、取締役（監査等委員である取締役を除く。）として、谷正人、中水英紀、高嶋耕太郎、中垣徹二郎の4名を選任するものであります。

本議案は、第1号議案「定款一部変更の件」の効力が生じた時をもって効力を生じるものいたします。

第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

当社は第1号議案「定款一部変更の件」の承認可決を条件として、監査等委員会設置会社へ移行いたします。つきましては、監査等委員である取締役として、佐々木陽三朗、小島圭介、徐進の3名を選任するものであります。

なお、本議案に関しましてはあらかじめ監査役会の同意を得ております。

本議案は、第1号議案「定款一部変更の件」の効力が生じた時をもって効力を生じるものいたします。

第4号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額設定の件

当社の取締役の報酬額は、平成27年5月27日開催の第7回定時株主総会において年額2億円以内（うち社外取締役分は年額2千万円以内。また、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。）とご決議いただき今日に至っておりますが、当社は、第1号議案「定款一部変更の件」の承認可決を条件として、監査等委員会設置会社へ移行いたします。つきましては、現在の取締役の報酬額に関する定めを廃止し、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額を、経済情勢等諸般の事情も考慮して、年額3億円以内（うち社外取締役分は年額3千万円以内）とするものであります。なお、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まないものとするものであります。なお、現在の取締役の員数は4名ですが、第1号議案「定款一部変更の件」及び第2号議案「取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件」が原案どおり承認可決されますと、取締役（監査等委員である取締役を除く。）は4名（うち社外取締役1名）となります。

本議案は、第1号議案「定款一部変更の件」の効力が生じた時をもって効力を生じるものいたします。

第5号議案 監査等委員である取締役の報酬額設定の件

当社は第1号議案「定款一部変更の件」の承認可決を条件として、監査等委員会設置会社へ移行いたします。つきましては、監査等委員である取締役の報酬額を、監査等委員である取締役の職務と責任を考慮して、年額5千万円以内と定めるものであります。第1号議案「定款一部変更の件」及び第3号議案「監査等委員である取締役3名選任の件」が原案どおり承認可決されますと、監査等委員である取締役は3名となります。

本議案は、第1号議案「定款一部変更の件」の効力が生じた時をもって効力を生じるものいたします。

第6号議案 会計監査人選任の件

当社の会計監査人である有限責任監査法人トーマツは、本総会終結の時をもって任期満了により退任されますので、監査役会の決定に基づき、三優監査法人を会計監査人として選任するものであります。

なお、監査役会が三優監査法人を会計監査人の候補者とした理由は、同監査法人は、監査役会が規定する「会計監査人の選任等の決定の方針」に照らし合わせ、当社の会計監査人に求められる専門性、独立性及び適切性を有し、当社の会計監査が適正かつ妥当に行われることを確保する体制を備えているものと判断したためであります。

(3) 当該決議事項に対する賛成、反対及び棄権の意思の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件並びに当該決議の結果

決議事項	賛成(個)	反対(個)	棄権(個)	可決要件	決議の結果 (賛成の割合)
第1号議案	100,692	1,786	0	(注)1	可決(96.77%)
第2号議案				(注)2	
谷 正人	102,374	100	0		可決(98.39%)
中水 英紀	102,361	113	0		可決(98.38%)
高嶋 耕太郎	102,354	120	0		可決(98.37%)
中垣 徹二郎	102,369	105	0		可決(98.38%)
第3号議案				(注)2	
佐々木 陽三朗	102,356	123	0		可決(98.37%)
小島 圭介	102,365	114	0		可決(98.38%)
徐 進	102,351	128	0		可決(98.37%)
第4号議案	102,240	239	0	(注)3	可決(98.26%)
第5号議案	102,296	182	0	(注)3	可決(98.31%)
第6号議案	102,338	141	0	(注)3	可決(98.35%)

(注)1. 議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その出席した当該株主の議決権の3分の2以上の賛成によります。

2. 議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その出席した当該株主の議決権の過半数の賛成によります。

3. 出席した株主の議決権の過半数の賛成によります。

(4) 議決権の数に株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

本総会前日までの事前行使分及び当日出席の一部の株主から各議案の賛否に関して確認できたものを合計したことにより、決議事項の可決が明らかになっているため、本総会当日出席の株主のうち、賛成、反対及び棄権の確認ができていない議決権数は加算しておりません。

以上